

2023年立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会審査報告

立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会

立教大学現代心理学部では、人間を対象とする心理学研究が倫理的配慮のもとに実施されるために、立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会規程に基づき審査を行った。2023年1月～12月の間に立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会において承認された研究（心理学専攻）は、下記の8件である。

申請者：心理学専攻博士課程後期課程3年次 張 馨月
研究課題：映像作品の理解に映像と音楽の関係がもたらす効果

申請者：心理学専攻博士課程前期課程2年次 十時 莉音
研究課題：プロモーションビデオにおける方言の使用が観光地訪問意向に及ぼす影響

申請者：心理学専攻博士課程前期課程2年次 大塚 遥音
研究課題：顔の形態情報不足時の認知的補完処理の研究

申請者：心理学専攻博士課程前期課程1年次 根本 啓伍
研究課題：BIS/ BAS がサルクコスト効果に与える影響

申請者：心理学専攻博士課程前期課程2年次 小川 勢太
研究課題：多肢選択意思決定における認知処理の違いがチョイスブラインドネスに及ぼす影響

申請者：心理学専攻博士課程後期課程3年次 張 馨月
研究課題：映像と音楽がもたらす印象についての心理学研究

申請者：心理学専攻博士課程前期課程1年次 根本 啓伍
研究課題：サルクコスト効果を測定するための予備実験

申請者：心理学専攻博士課程後期課程3年次 張 馨月
研究課題：映像作品の表現形式がもたらす効果

以上

委員会構成メンバー

林もも子（委員長）、松永美希、氏家悠太、温文、浅野倫子